

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホームさくらんぼ須屋
 作成日 : 平成25年5月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	その日のメニューの味や量など次回に生かせる検食簿の記入に期待をしたい。また、時間がずれて食事をされる方の食事提供については温かさなど十分な確認による提供が必要と思われる。	入居者の方に満足していただける食事を提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者に状況に合わせた食事を提供する。 ・検食簿の内容、記入方法を再検討し意見を生かした献立を考える。 	3ヶ月
2	10	今後も出された意見や要望等を記録に残し、一つひとつに応えることで更にホームへの信頼に繋がるものと思われる。	ホームへの意見や要望は職員全員で受け止め、運営に反映できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼、終礼、また月1回行なう会議で職員に伝える ・些細なことでも、きちんと記録に残す 	6ヶ月
3	35	今後も引き続き地域の協力体制の強化や職員の防災意識により安全対策に努められる事に期待したい。また、ホームでの食備蓄についても検討いただきたい。	災害は発生時に備えホーム内での防災体制強化と、地域の協力を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方や運営推進会議メンバーにも協力していただき各々の役割を書面にて明確化する。 ・食備蓄に関しては法人にも協力を得る。 	6ヶ月
4	33	ホームでの看取り支援の有無に関わらず、家族の思いを確認したり、ホームにできないことを家族と共有する機会をもたれることが必要と思われる。	スタッフ一人ひとり本人、家族の思いを共有し柔軟に対応できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の意向を取り入れられるよう話し合いの場を設け、主治医ともより密な連携を図る。 ・看取りや終末期の勉強会を行いケアの質の向上に繋げる。 	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。